

都市再生整備計画 事後評価シート
勝瀬・ふじみ野地区

令和2年12月

埼玉県富士見市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	富士見市	地区名	勝瀬・ふじみ野地区		面積	171.9ha
交付期間	平成26年度～平成30年度	事後評価実施時期	令和2年度	交付対象事業費	1,640.4百万円	国費率	0.4	

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業		多目的公共施設(出張所、集会施設、食育室)、バス停シェルター(ふじみ野駅東口)、公園(南むさしの公園)、道路整備(市道第5101号線(新設)、市道第5129号線(ふじみ野駅東口駅前広場))						
	提案事業		多目的公共施設(児童館)						
	事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から削除した事業		基幹事業		道路整備(市道第5101号線)の一部		新設部分(L=300m)を都市再生整備計画による整備(補助率40%)と拡幅部分(L=270m)を道路事業(補助率55%)による整備に変更		なし
	新たに追加した事業		基幹事業						
交付期間の変更		当初	平成26年度～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし			
		変更							

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	地区内住民のうち地域活動(防災訓練や清掃など)へ参加している人の割合	%	33.1	H24	35.0	H30		26.2	×	あり なし ●	公園の整備や多目的公共施設の新築により、一定程度地域コミュニティの推進に寄与したものと考えられるが、地域活動への参加までは繋がらず、目標を達成できなかった。	令和3年度
指標2	市道第5101号線を通る1日あたりの車両台数	台	3,197	H23	3,800	H30		4,088	○	あり なし	地権者との交渉がまとまらず、市道第5101号線の全線開通には至らなかったものの、ふじみ野駅東口の整備や近隣の大型商業施設の開業により、1日あたりの車両台数は増加した。	工事終了後
指標3										あり なし		
指標4										あり なし		
指標5										あり なし		

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	地区内住民のうち、当市に「ずっと住み続けたい」「自分の間は住み続けたい」人の割合	%	74.6	H24				82.2			道路や公園の整備、多目的公共施設の整備により、勝瀬・ふじみ野地区の生活利便性向上し、住み続けたいと考える住民の割合が大幅に増加した。	令和3年度
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

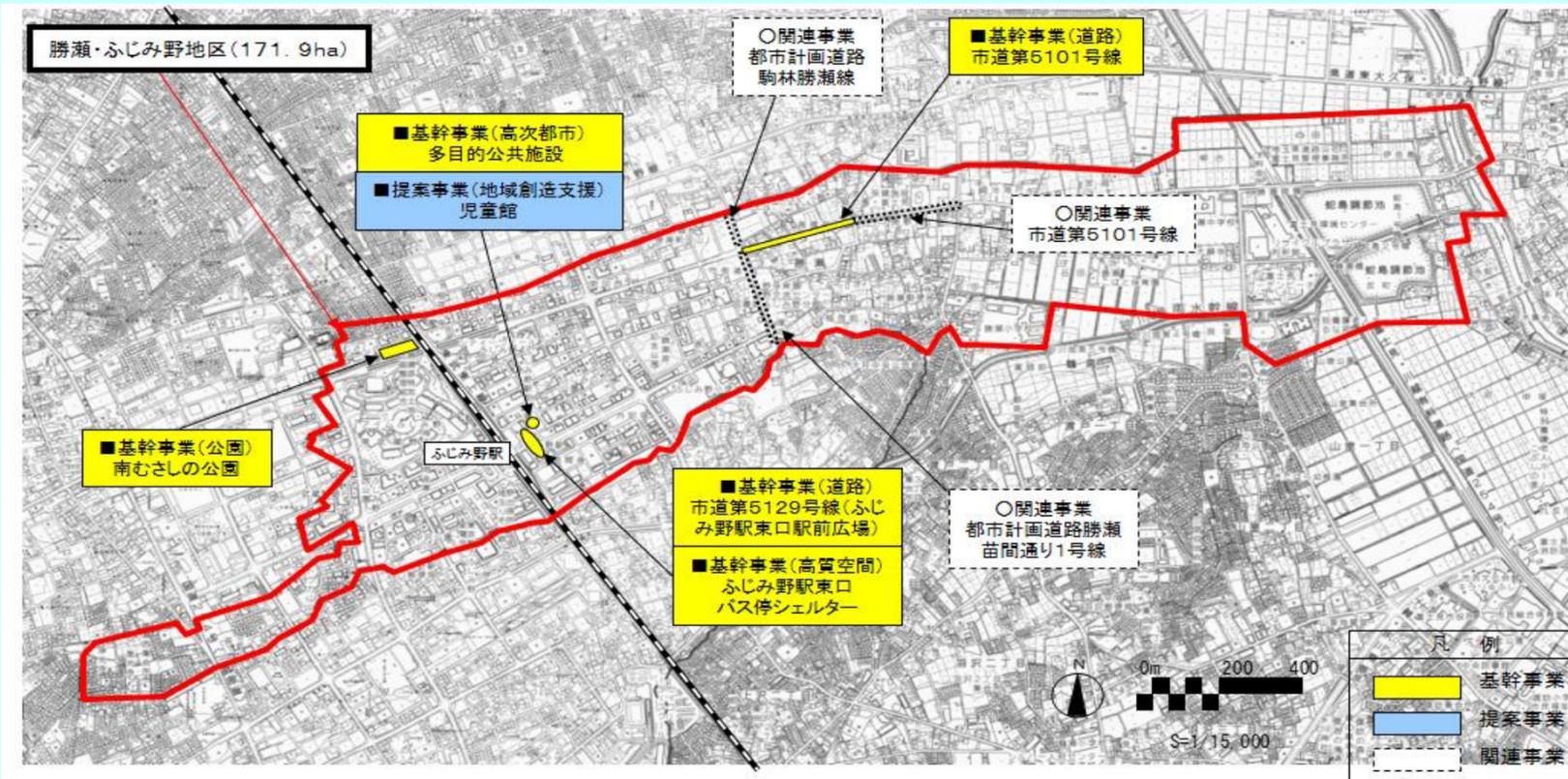
4)定性的な効果発現状況	なし											
--------------	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況			今後の対応方針等	
モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた				
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				
住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた				
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				
持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた				
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				

様式2-2 地区の概要

勝瀬・ふじみ野地区(埼玉県富士見市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 勝瀬・ふじみ野地区における安全で快適に住み続けられるまちづくり 目標1: 地域における交流拠点の整備による地域コミュニティの醸成 目標2: 道路ネットワークの強化	地区内住民のうち地域活動(防災訓練や清掃など)へ参加している人の割合	単位: %	33.1 H24	35 H30	26.2 H30
	市道第5101号線を通過する1日あたりの車両台数	単位: 台	3,197 H23	3,800 H30	4,088 R2
	地区内住民のうち、当市に「ずっと住み続けたい」「当分の間は住み続けたい」人の割合	単位: %	74.6 H24	-	82.2 H30
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化	地域コミュニティの活性化に資する施設等の整備が進んだので、それを活かすために、ソフト面からの課題解決へのアプローチが求められる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	引き続き、整備が未完了の道路整備を進めるとともに、町会活動の活性化や自主防災組織の設立など、ソフト面からのアプローチを行うことで、指標の達成を目指す。

まちづくり交付金 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()					

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道第5101号線	1,119	L=570m	800	L=300m	拡幅部分(L=270m)は道路事業による整備に変更。	地権者交渉が難航し、事業は未完成であるものの、他整備が完了しており、数値への影響が大きくはないと判断し、数値目標は据え置く。		
道路	市道第5129号線(ふじみ野駅東口駅前広場)	10	L=4,000m	12	L=4,000m	事業費を実績ベースに変更	影響なし	●	
公園	南むさしの公園	72	2,680㎡	73	2,680㎡	事業費を実績ベースに変更	影響なし	●	
高質空間形成施設	ふじみ野駅東口バス停シェルター	30	3カ所	42	3カ所	事業費を実績ベースに変更	影響なし	●	
高次都市施設	多目的公共施設	454	延床606㎡	449	延床606㎡	事業費を実績ベースに変更	影響なし	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	児童館(多目的公共施設内)	268	延床357㎡	265	延床357㎡	事業費を実績ベースに変更	影響なし	●	
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
都市計画道路駒林勝瀬線(市道第5103号線)		駒林勝瀬線	39	39	平成26年度～平成29年度	平成26年度～平成29年度	完成	
都市計画道路勝瀬苗間通り1号線(市道第5125号線)		勝瀬苗間通り1号線	344	344	平成26年度～平成30年度	平成26年度～平成30年度	完成	
道路事業		市道第5101号線		312		平成27年度～令和2年度	用地取得が難航し、事業期間内の終了が難しい。	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)		目標達成度※2	1年以内の 達成見込みの有無	
			基準 年度		基準 年度		目標 年度					あり	なし
指標1	%	層化無作為抽出法によるアンケート(郵送による市民意識調査)			33.1	H24	35.0	H30	モニタリング		モニタリング	●	
									事後評価	確定見込み ● 26.2	事後評価 ×		
指標2	台	交通量調査			3,197	H23	3,800	H30	モニタリング		モニタリング	○	
									事後評価	確定見込み ● 4,088	事後評価 ○		
指標3									モニタリング		モニタリング		
									事後評価	確定見込み	事後評価		
指標4									モニタリング		モニタリング		
									事後評価	確定見込み	事後評価		
指標5									モニタリング		モニタリング		
									事後評価	確定見込み	事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	公園の整備や多目的公共施設の新築により、一定程度地域コミュニティの推進に寄与したものと考えられるが、地域活動への参加までは繋がらず、目標を達成できなかった。	
指標2	地権者との交渉がまとまらず、市道第5101号線の全線開通には至らなかったものの、ふじみ野駅東口の整備や近隣の大型商業施設の開業により、1日あたりの車両台数は増加した。	
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)		本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
			基準年度		基準年度					
その他の数値指標1	%	地区内住民のうち、当市に「ずっと住みたい」「当分の間は住みたい」人の割合	層化無作為抽出法によるアンケート(郵送による市民意識調査)		74.6	H24	モニタリング		82.2	本計画を実施したことにより、地域活動に繋げることができなかったものの、定住意識は向上していることを示すため。
							事後評価	確定見込み ●		
その他の数値指標2							モニタリング			
							事後評価	確定見込み		
その他の数値指標3							モニタリング			
							事後評価	確定見込み		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織	関係各課課長級職員(政策企画課、ピアザ☆ふじみ、保育課、道路治水課、交通・管理課、まちづくり推進課、健康増進センター)	令和2年9月	政策企画課(都市再生整備計画事業担当課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		その他数値指標1					
指標名		市道第5101号線を通る1日あたりの車両台数		地区内住民のうち、当市に「ずっと住みたい」「当分の間は住みたい」人の割合					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	市道第5101号線	△	地権者との交渉がまとまらず、市道第5101号線の全線開通には至らなかったものの、ふじみ野駅東口の整備や近隣の大型商業施設の開業により、1日あたりの車両台数は増加した。	△	道路や公園の整備、多目的公共施設の新築により、勝瀬・ふじみ野地区の生活利便性向上し、住みたいと考える住民の割合が大幅に増加した。				
	市道第5129号線(ふじみ野駅東口駅前広場)	○		○					
	南むさしの公園	-		○					
	ふじみ野駅東口バス停シェルター	○		○					
	多目的公共施設	-		○					
提案事業	児童館(多目的公共施設内)	-		○					
関連事業									

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	市道第5101号線の全線開通を実現し、更なる交通量の増加を目指す。	整備した施設等を更に活用することにより、定住意識の更なる向上を目指す。		
-------	-----------------------------------	-------------------------------------	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2											
指標名		地区内住民のうち地域活動(防災訓練や清掃など)へ参加している人の割合											
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	市道第5101号線	-	公園の整備や多目的公共施設の新築により、一定程度地域コミュニティの推進に寄与したものと考えられるが、地域活動への参加までは繋がらず、目標を達成できなかった。	Ⅲ									
	市道第5129号線(ふじみ野駅東口駅前広場)	-											
	南むさしの公園	△											
	ふじみ野駅東口バス停シェルター	-											
	多目的公共施設	△											
提案事業	児童館(多目的公共施設内)	△											
関連事業													

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	地域活動への参加率は向上しなかったものの、定住意識は向上していることから、地域住民からの利便性の向上については評価されていると考えられる。今後は、住み続けたいと考えている地域住民に対し、今回整備した拠点をより一層活用することにより地域活動への参加を促し、目標の達成を目指す。			
------------------	---	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織	関係各課課長級職員(政策企画課、ピアザ☆ふじみ、保育課、道路治水課、交通・管理課、まちづくり推進課、健康増進センター)	令和2年9月	政策企画課(都市再生整備計画事業担当課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
地域コミュニティを更に推進させることが望まれる。	ピアザ☆ふじみを開館し、地域コミュニティの拠点として活用されるようになった。	地域活動への関心が低いままである。	
子育て支援機能の充実や、幼児から高校生までの活動拠点の整備が必要である。	ふじみ野児童館を開館し、年間約3万人(延べ)の利用者に利用されている。		
道路ネットワークの強化を図る必要がある。	市道第5101号線の整備について、一部完了となった(未開通)。	未整備の部分について、地権者交渉を含めて進めていく必要がある。	
公共交通利用促進のため、バス停を整備する必要がある。	ふじみ野駅東口バス停を整備することにより、バスの発着数の増加が可能となった。		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	定住希望者の確保	公園や多目的公共施設を整備することにより、近隣住民の生活利便性が向上したので、引き続き道路等の整備を行い、住み続けたいと思われる市街地を形成する。	・市道第5101号線の整備

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	町会や地域活動への参加者の確保	交流拠点施設を新築したものの、地域活動への参加者は増加しなかったため、施設の活用や地域活動の周知などを実施し、地域活動への参加者を伸ばしていく。	・町会活動の活性化 ・自主防災組織の設立
	市道第5101号線の全線開通	市道第5101号線の全線開通に向けて、引き続き地権者交渉を行い、整備を進める。	・市道第5101号線の整備

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度	確定 ●	見込み ○		あり ●	なし ○	予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	地区内住民のうち地域活動(防災訓練や清掃など)へ参加している人の割合	%	33.1	H24	35	H30	確定 ●	見込み ○	26.2	×	あり ●	なし ○	令和3年度	層化無作為抽出法によるアンケート(郵送による市民意識調査)	
指標2	市道第5101号線を通る1日あたりの車両台数	台	3,197	H23	3,800	H30	確定 ●	見込み ○	4,088	○	あり ●	なし ○	工事完了後	交通量調査	
指標3				H		H	確定 ●	見込み ○			あり ●	なし ○			
指標4				H		H	確定 ●	見込み ○			あり ●	なし ○			
指標5				H		H	確定 ●	見込み ○			あり ●	なし ○			
その他の数値指標1	地区内住民のうち、当市に「ずっと住み続けたい」「当分の間は住み続けたい」人の割合	%	74.6	H24			確定 ●	見込み ○	82.2				令和3年度	層化無作為抽出法によるアンケート(郵送による市民意識調査)	
その他の数値指標2				H			確定 ●	見込み ○							
その他の数値指標3				H			確定 ●	見込み ○							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		・数値目標を設定について、目標・事業と十分に連動すると考えられるものを選択する。
	うまくいかなかった点	・数値目標と目標・事業との整合性が不十分であった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		・事業実施の進捗に応じて、その結果が数値に反映されると見込まれる数値目標を設定することが望ましい。 ・施設等の整備にとどまらず、その活用についても計画に入れ込むことが望ましい。
	うまくいかなかった点	・数値目標の設定について、事業を実施することで必ずしも改善される指標ではなかった。 ・施設等の整備だけではなく、近隣住民に対しての地域活動への参加喚起を促すことが必要であった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・公開が必要な情報については、適宜ホームページで公開してきた。	・住民参加や情報公開については、今後の整備等の際も実施していく。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		・事業のみならず数値も意識しながら事業を進める。
	うまくいかなかった点	・今回の計画で実施するものが施設等の整備であったため、それが目的化してしまい、数値目標達成へ向けてのPDCAによる事業の推進という考え方が弱かった。	
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	令和2年10月6日～10月30日	令和2年10月6日～10月30日	担当課への 電話、FAX、電子メール	政策企画課 (都市再生整備計画事業担当課)
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	意見なし。				
-------	-------	--	--	--	--

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	元行政関係者、農業委員会関係者、農業従事者、商工会関係者、生態系保護協会関係者、市民団体関係者	令和2年12月	政策企画課 (都市再生整備計画事業担当課)	富士見市都市計画審議会条例の制定による設置	既存組織そのものを位置づけ
その他の委員	市議会議員、市民				

審議事項		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	
	成果の評価	
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	
	事後評価原案の公表の妥当性	
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、まちづくり交付金評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--